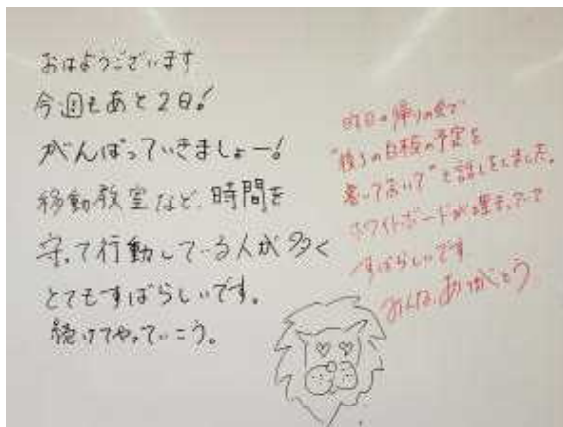
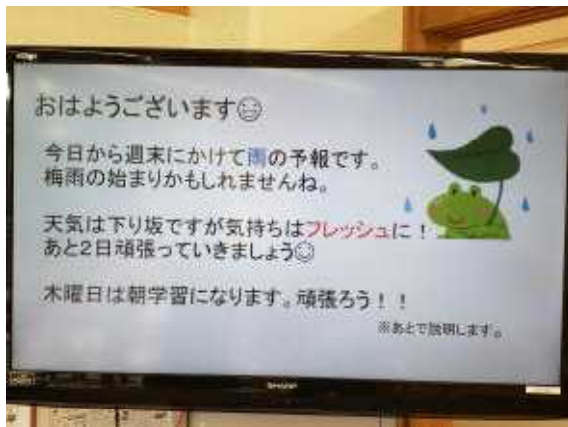


6月12日(金) 「モーニング・メッセージ」



正面のホワイトボードに書かれたメッセージ



学級のモニターに書かれたメッセージ

朝の教室をまわっているといくつかの教室で前面黒板に”モーニングメッセージ”が書かれています。背面黒板には、週一度程度の短いメッセージが書かれています。どちらのメッセージも担任の思いがあらわれていて、どんな学級を創ろうとしているのかがよくわかります。

特にモーニングメッセージを書く先生が今年に入ってから増えました。1時間目が始まるまでのわずか40分ほどしかそこに書かれていないメッセージです。授業が始まれば、すぐに消されてしまうメッセージ。

しかし、先生方は書き続けます。毎日だからこそ意味があります。前日までの思いを生徒に投げかけ、一日をスタートさせます。その7割は生徒へのほめ言葉や励ましの言葉で、3割ほどが課題を投げかける言葉です。このメッセージを毎日繰り返すことで、生徒は知らず知らずのうちにどのような学級を創るかというイメージが出来上がります。それが体育祭や合唱祭と言った大きな行事でよい方向に働いてきます。

イチロー選手が言いました。

”小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道である”

モーニングメッセージという小さなメッセージですが、積み重ねは大きいです。今後もこのウェブサイトにて様々な思いや言葉を紹介させていただきます。